

平成31年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文B	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	2	教科書	高等学校 改訂版現代文B (第一学習社)		
副教材等	改訂版現代文B 学習課題集 (第一学習社)				

学習の目標	1 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。 2 論理的思考力や想像力を身に付け、自分の意見を的確に表現する力を養います。
学習の方法	・授業に集中して取り組み、本文を要約したり、自分の考えを書いたり発表したりする活動に積極的に参加しましょう。また、ノートの整理などもきちんとしておきましょう。 ・学習課題集の問題を解いたり、漢字や語句の意味を調べたりして、語彙力を高めましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1 学期 中間	評論1 写真の持つ力 未来世代への責任	・評論を読み、その構成・展開・要旨などを、文脈に即して的確に読み取ります。 ・ジャーナリズムや環境問題についての文章を読み、思索を深めます。 ・小テスト、ノート、定期考査	B	—	—	A	B
	小説1 骰子の七の目	・小説を読み、場面や登場人物の描写を的確に捉えます。 ・心象風景を描いた小説の読み取りを通じて、洞察力を養います。 ・小テスト、ノート、定期考査	B	—	—	A	B
1 学期 末	評論2 言語が見せる世界	・評論を読み、筆者の述べる人間・社会について、的確に理解します。「言語」について、様々な見方や考え方があることを理解します。 ・小テスト、ノート、定期考査	B	—	A	—	B
	詩 足と心 冬の日 自然の背後に隠れて居る	・詩を読み、そこに書かれた内容を的確に捉えます。個性的な内容の詩を読むことを通して、感性や心情を豊かにします。 ・小テスト、ノート、定期考査	B	—	—	A	B
2 学期 中間	評論3 身体の個性	・評論を読み、語句の意味や表現上の特色を捉え、自分の表現に役立てます。 ・「自己」について、複数の視点から考えます。 ・小テスト、ノート、定期考査	B	—	A	—	B
	小説2 舞姫	・文語文で書かれた小説の内容を的確に理解し、時代背景を踏まえて登場人物の言動・心情を読み取り人間の生き方について考えを深めます。 ・小テスト、ノート、定期考査	B	—	—	A	B
2 学期 末	評論4 リスク社会とは何か	・評論を読み、筆者の述べる人間・社会について、的確に理解します。空間的、時間的に異なる世界について論じた文章を読み、思索を深めます。 ・小テスト、ノート、定期考査	B	—	—	A	B
	小説3 枯野抄	・小説を読み、場面や登場人物の設定と話の推移を的確に捉えます。師弟関係を描いた小説を通じて、人間存在の意義について考えを深めます。 ・小テスト、ノート、定期考査	B	—	A	—	B
学年末	評論5 現代日本の開化	・評論を読み、その内容について様々な情報を整理・分析し、自分の意見を表現します。現代の問題についての考えを深め、筆者の主張について論理的に評価します。 ・小テスト、ノート、定期考査	B	A	—	—	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査は行いません。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	10
② 話す・聞く能力	行動の観察、発表	10
③ 書く能力	課題プリント、定期考査	30
④ 読む能力	課題プリント、定期考査	20
⑤ 知識・理解	ノート、小テスト、定期考査	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

平成31年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	地理A	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	2	教科書	高等学校 新地理A（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）		
副教材	フォトグラフィア地理図説（東京法令出版）				

学習の目標	地理では、現代世界の抱えている諸問題を、身近なところから世界的規模まで空間的な広がりの中なかでとらえて考察する姿勢を身に付けます。
学習の方法	・地図帳や作業地図などを活用して、自然環境、産業、様々な人々の生活・文化、地球的課題などの特徴や分布状況を空間的な広がりの中なかでとらえていきましょう。自分の知識や体験を通して、普段から様々な問題に興味・関心を持ち、解決しようとする前向きな姿勢を大切にしましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1部 世界の諸地域の姿と地球的課題 1章 地球儀や地図からとらえる現代社会	・地上の現象と地球上の位置、時差、地図の図法、国家の領域と国境、日本の領域と領土問題、交通、通信、貿易について学習します。 ・ノート、作業プリント、定期考査	B	A	B	B
	2章 人間生活を取り巻く環境	・人々の生活と地形、気候、産業、文化の関連性について学習します。 ・ノート、作業プリント、定期考査	B	B	—	A
2 学期 中間	3章 世界の諸地域の生活・文化	・東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、西アジア、アフリカ、ヨーロッパ、ロシア、アングロアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニアなどの生活や文化について学習します。 ・ノート、作業プリント、定期考査	B	B	B	A
2 学期 末	4章 地球的課題と私たち	・環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題、都市・居住問題について学習します。 ・ノート、作業プリント、定期考査	B	A	—	B
3 学期	第2部 身近な地域の調査 1章 身近にあるさまざまな地図	・身近にあるさまざまな地図、GISやGPSの仕組み、情報を地図化する方法を学習します。 ・ノート、作業プリント	B	B	A	B
	2章 日本の自然環境と防災	・日本の自然環境、火山災害、地震被害、風水害、防災について学習します。 ・ノート、作業プリント	B	A	—	B
	3章 身近な地域の課題と地域調査	・身近な地域の課題やその調査方法、調査内容のまとめ方について考えます。 ・ノート、作業プリント	A	B	B	—

- (備考) 1 1学期の定期考査は、期末に行う。2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	授業態度、発表、作業プリント、ノート	20
② 思考・判断・表現	発表、作業プリント、ノート、定期考査	20
③ 資料活用 of 技能	発表、作業プリント、ノート、定期考査	20
④ 知識・理解	作業プリント、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

平成31年度 シラバス

教科	公民	科目	政治経済	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	3	教科書	改訂版 政治・経済 (数研出版)		
副教材等	政治・経済資料集 (東京法令出版)				

学習の目標	1 現代の日本の政治・経済及び国際関係について関心を高め、政治・経済に関する基本的な知識や見方・考え方を身に付けます。 2 政治や経済、国際関係などに関する諸課題を主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民としての態度を育みます。
学習の方法	・教科書を基本教材としつつ、資料豊富な副教材も活用します。 ・定期的に内容確認の小テストを実施し、学習内容の定着を図ります。 ・事前に家庭で教科書を読んでから、授業に臨みましょう。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法 第1節 民主政治の基本原則	・民主政治の基本原則を学び、民主政治の本質を理解します。 ・学習プリント、定期考査	B	B	—	A
	第2節 日本国憲法と基本的人権	・日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、政治機構について学習し、民主主義の本質を理解します。 ・学習プリント、定期考査	B	B	—	A
1 学期 末	第3節 日本の政治機構 第4節 政治参加と民主政治の課題	・日本の政治機構について学習し、現代日本の政治について理解を深めるとともに、主権者としての政治参加の在り方を考察します。 ・学習プリント、小テスト、定期考査	B	A	—	B
	第2章 現代の国際政治 第1節 国際政治の動向 第2節 国際社会の課題と日本の役割	・国際社会の変遷や国際法、国際機構について学習し、国際政治の特質について理解し、国際平和のための日本の役割を考察します。 ・学習プリント、小テスト、定期考査	B	A	—	B
2 学期 中間	第2編 現代の政治 第1章 現代政治の仕組みと特質 第1節 経済活動の意義と経済体制	・資本主義経済と社会主義経済の発展と変容と経済体制について学び、現代の日本経済及び世界経済について理解します。 ・学習プリント、定期考査	B	B	—	A
	第2節 現代経済のしくみ	・国民経済における市場経済の機能や限界、財政や金融機関の役割などについて理解し、経済社会の在り方について考察します。 ・学習プリント、小テスト、定期考査	B	B	—	A
2 学期 末	第3節 日本経済と福祉の向上	・戦後の日本経済を学び、中小企業や農業、労使関係、少子高齢社会についての課題を考察します。 ・学習プリント、小テスト、定期考査	B	A	—	B
	第2章 国民経済と国際経済 第1節 国際経済の動向 第2節 国際経済の課題と国際協力	・貿易の意義や為替相場、国際収支のしくみについて理解し、国際協調の必要性や国際経済における日本の役割を考察します。 ・学習プリント、小テスト、定期考査	B	A	—	B
3 学期	第3編 現代社会の諸課題 第1節 現代日本の諸課題	・政治や経済などの基本的な理解を踏まえ、少子高齢化や地域社会、産業構造の変化など現代日本の諸課題について考察します。 ・学習プリント	B	A	B	—
	第2節 国際社会の諸課題	・地球環境問題や資源エネルギー問題、国際経済格差など地球規模の課題に対する日本の役割について、政治と経済を関連させて考察します。 ・学習プリント	B	A	B	—
	問題演習	・大学入試センター試験の過去問を中心として、問題演習を行い、問題の傾向に慣れるようにします。 ・学習プリント、小テスト	B	B	B	A

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	授業態度、発表、プリント整理	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査	20
③ 資料活用 of 技能	発表、定期考査	10
④ 知識・理解	課題プリント、小テスト、定期考査	50

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

平成31年度 シラバス

教科	数 学	科目	数学探究A	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	3	教科書	数学探究A(学校作成教科書)		
副教材等					

学習の目標	数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間とのかかわりや、社会生活において数学が果たしている役割について理解し、数学に対する興味・関心を高めるとともに、数学を活用していく能力を身に付けます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・予習・復習を徹底するとともに、疑問点や問題点の改善に努力してください。 ・課題は指定された期日までに、内容をよく確認して提出してください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	[数学I] 数と式	<ul style="list-style-type: none"> ・式の展開、因数分解について演習を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	A	—
	2次関数	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数とグラフについて演習を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	A	—	B	B
1 学期 末	図形と計量	<ul style="list-style-type: none"> ・三角比について演習を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	—	B
	データの分析	<ul style="list-style-type: none"> ・データの読み取り方、箱ひげ図などについて演習を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	A	B	B	—
2 学期 中間	[数学A] 場合の数と確率	<ul style="list-style-type: none"> ・順列、組合せ、条件付き確率について演習を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	A	B
	整数の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・整数問題、ユークリッドの互除法について演習を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	—	A
2 学期 末	図形の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形と円の図形的性質についての演習を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	B	A
	問題演習①	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野の融合的な演習問題を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト 	B	B	—	A
3 学期	問題演習②	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野の融合的な演習問題を行います。 ・課題プリント、ノート、小テスト 	B	B	—	A
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的、自発的な演習問題を行います。 ・課題プリント、ノート 				

(備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、発表、課題プリント、ノート	20
② 数学的な見方や考え方	行動の観察、発表、小テスト、定期考査	30
③ 数学的な技能	小テスト、定期考査	10
④ 知識・理解	定期考査、課題プリント、ノート	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

平成31年度 シラバス

教科	理科	科目	地学基礎	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	2	教科書	地学基礎 改訂版 (啓林館)		
副教材等	地学学習帳 (愛媛県高等学校教育研究会理科部会) ・ ニューステージ新地学図表 (浜島書店) ・ センサー地学基礎 (啓林館)				

学習の目標	1 身の回りにある自然の事物の観察や、発生する自然現象について考察します。 2 地学を通して、科学的に思考する態度や真理を探究する姿勢を身に付けます。
学習の方法	・授業中は教科書の内容だけでなく、資料集に掲載されている図や表から、頭の中で地学現象のメカニズムをイメージすることが大切です。 ・家庭学習では副教材を用いて基礎知識を定着させ、授業内容をさらに理解できるように心掛けてください。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1 固体地球とその変動 (1) 地球 (2) 活動する地球	<ul style="list-style-type: none"> ・固体地球について、観測・計測データから理解します。 ・観察・実験の観察、課題プリント、定期考査 	B	B	B	A
1 学期 末	2 移り変わる地球 (1) 地球史の読み方 (2) 地球と生命の進化	<ul style="list-style-type: none"> ・地上での環境の変化や生物の進化を地層に残された証拠や化石から推察し、先史時代の歴史を理解します。 ・観察・実験の観察、課題プリント、定期考査 	B	B	B	A
2 学期 中間	3 大気と海洋 (1) 大気の大気構造 (2) 太陽放射と大気・海水の運動 (3) 日本で見られる季節の気象	<ul style="list-style-type: none"> ・天気図や日々の天気現象を原因と結果考察しながら理解を深めます。 ・観察・実験の観察、課題プリント、定期考査 ・日本における季節ごとの天気図の移り変わりを、原因と結果を考察しながら理解を深めます。 ・観察・実験の観察、課題プリント、定期考査 	B	B	B	A
2 学期 末	4 宇宙の構成 (1) 太陽系と太陽 (2) 恒星としての太陽の進化 5 自然との共生 地球環境と人類の関係	<ul style="list-style-type: none"> ・恒星について理解し、太陽を恒星の一つと考えて学習します。 ・星の集合である銀河、とりわけ太陽系の属する銀河系について、理解を深め、銀河の存在する宇宙について体系的に学習します。 ・課題プリント、定期考査 ・今まで習ったことを実生活と関連づけて学びます。 ・日本で起こりうる災害に対して、被害を最小限に抑え、生き延びるためにどうすべきかを考えていきます。 ・課題プリント、定期考査 	B	B	A	B
3 学期	総合演習	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容の復習に取り組みます。 ・プリント 	B	B	—	A

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査は実施しない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	10
② 思考・判断・表現	発表、定期考査	25
③ 観察・実験の技能	観察・実験の観察、実験ノート、定期考査	25
④ 知識・理解	実験ノート、課題プリント、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

平成31年度 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	3	教科書	現代高等保健体育 改訂版 (大修館)		
副教材等					

学習の目標	1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。 2 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、健康・安全・運動についての課題を主体的に解決する意欲や能力を育てます。
学習の方法	・体づくり運動、球技・武道(選択)、ダンス・陸上競技(選択)を通して、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てます。 ・体育理論では、座学でスポーツにかかわる生活のあり方について学びます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	体づくり運動	・体ほぐし運動を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、心と体が互いに影響し変化することに学びます。 ・行動観察	A	B	—	B
	選択1(球技【ソフトボール・バレーボール・テニス】・武道)	・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようになります。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・実技テスト	B	B	A	B
	体育理論	・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。 ・行動観察	A	—	—	B
2 学期	体づくり運動	・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。 ・行動観察	B	B	A	B
	選択2(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	・運動やスポーツを行うことで、大きな達成感や喜びを味わい、心や体を健康にすることを学びます。 ・小テスト	A	B	B	B
	体育理論	・長距離を走るにより自分と向き合い努力すること、粘り強く相手と競り合う強い心を養うことを目標にします。また、ペース配分をしたり、ペースの変化に対応するなど主体的に取り組むことができますようにします。 ・小テスト	B	—	—	A
3 学期	陸上競技(長距離走)	・長距離を走るにより自分と向き合い努力すること、粘り強く相手と競り合う強い心を養うことを目標にします。また、ペース配分をしたり、ペースの変化に対応するなど主体的に取り組むことができますようにします。 ・記録計測	A	B	B	B
	選択(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	・運動の合理的な動きを理解し、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学びます。 ・実技テスト ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・実技テスト	B	B	A	B

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、各先生の評価プリント	25
② 思考・判断	行動の観察、各先生の評価プリント	25
③ 運動の技能	行動の観察、スキルテスト	25
④ 知識・理解	行動の観察、各先生の評価プリント	25

平成31年度 シラバス

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	学年 学科 類型	3年 商業科 Ⅱ型
単位数	3	教科書	Power On English Communication Ⅱ (東京書籍)		
副教材等	デュアルスコープ総合英語 (数研出版)				

学習の目標	1 英語を理解し英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 教科書等の英語を読んだり聞いたりしたことに対する自分の感想や意見を、適切な英文で表現できる理解力と表現力を習得します。 3 基本的な構文や文法、語彙を習得します。全商英語検定2級以上を目標とします。
学習の方法	・授業は、家で本文プリントをノートに貼り、教科書に出てくる新出単語の意味を調べてノートに書いてくるのが前提になります。辞書を使いながら、できる限り本文を日本語に直してみましょう。授業中の言語活動に参加できるように、家での準備を自分の力で必ずやる習慣をつけましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書を利用して、自分で調べてみるようにしましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	Lesson 6 Vegetable Factories	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい農業の在り方である野菜工場について学びます。 ・英語を通じて、国内外の社会の変化や動きを注視する態度を養います。 ・進行形の受け身、It appears that…、未来完了形、譲歩を表す副詞節を学びます。 ・発表、定期考査 	B	A	B	B
1 学期 末	Lesson 7 The Power of Color	<ul style="list-style-type: none"> ・色が持つ力について学びます。 ・言葉や文字以外のコミュニケーションの重要性を学びます。 ・同格、前置詞+関係代名詞を学びます。 ・発表、定期考査 	B	B	A	B
	Lesson 8 Miu and Mima, Friendly but Tough Competitors	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なスポーツ選手を取り上げ、彼らの偉業を学びます。 ・夢を実現させるための戦略について学びます。 ・付帯状況、while節、to+have+過去分詞、助動詞+完了形を学びます。 ・発表、定期考査 	B	A	B	B
2 学期 中間	Lesson 9 From Owing to Sharing	<ul style="list-style-type: none"> ・過去と現代の違いを学びます。 ・所有から共有への価値観を学びます。 ・強調表現、It is said+that…、形式目的語、過去完了進行形を学びます。 ・課題プリント、定期考査 	B	A	B	B
2 学期 末	Lesson 10 Solar Cooking	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の構築について学びます。 ・ソーラーパワーを活用したオーストラリアのバスを例に挙げ、現在行われている様々な活用事例に対する見識を深めます。 ・be動詞+不定詞、wishの用法、関係副詞where, whenの非制限用法 ・課題プリント、定期考査 	B	A	B	B
3 学期	3年生のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の文法を復習します。 	A	B	B	B

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	言語活動への参加、出席状況、課題	30
② 外国語表現の能力	授業における発表内容、課題、定期考査	20
③ 外国語理解の能力	授業における質疑応答、定期考査、小テストの成績	20
④ 言語や文化についての知識・理解	ノート、定期考査	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

平成31年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語表現Ⅱ	学年 学科 類型	3年 商業科 Ⅱ型
単位数	3	教科書	DUALSCOPE English Expression Ⅱ (数研出版)		
副教材等	デュアルスコープ総合英語 (数研出版)、キクタン6000 (アルク)				

学習の目標	1 英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 基本的な表現や構文・文法を習得し、英文の内容や相手の意図を正しく理解し、自分の考えを的確に表現できる英語力を身に付けます。 3 GTEC(3技能)450点以上、全商英語検定1級を目標とします。
学習の方法	・授業は、教科書の練習問題などを家で解答していただくことが前提になります。授業中の言語活動に参加できるように、自分の力で解答する習慣を継続しましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や副教材を利用して、自分で調べてみるようにしましょう。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	UNIT 11～13 Modifying Nouns EXTRA UNIT1～3 Nouns, Articles, Adjectives BONUS UNIT Prepositions	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞を修飾する表現について学びます。 ・分詞/不定詞/同格/関係詞の制限用法/関係詞の非制限用法/複合関係詞 ・名詞および名詞の意味を限定する語句を中心に学習します。英語ならではの感覚を理解しましょう。 ・名詞/冠詞/形容詞/前置詞 ・小テスト、課題プリント、定期考査 	B	A	—	B
1 学期 末	Expressing on Different Topics UNIT 14～17 □	<ul style="list-style-type: none"> ・目的、程度・結果、原因・理由、譲歩の表現について学びます。 ・自分の夢や目標について英語で表現します。 ・学校生活について英語で表現します。 ・部活動について英語で表現します。 ・社会や福祉に関する内容を英語で表現します。 ・小テスト、課題プリント、発表、定期考査 	B	A	—	B
2 学期 中間	Expressing on Different Topics UNIT 18～21 Expressing in a Paragraph UNIT22～24	<ul style="list-style-type: none"> ・比較、条件・仮定、否定の表現について学びます。 ・技術や文明に関する内容を英語で表現します。 ・日本文化や国際理解に関する内容を英語で表現します。 ・言語やコミュニケーションに関する内容を英語で表現します。 ・自然や環境に関する内容を英語で表現します。 ・パラグラフの構成やつなぎ表現を学びます。 ・列挙や時間的順序を表す表現を学びます。 ・追加や言い換えの表現を学びます。 ・発表、定期考査 	B	A	—	B
2 学期 末	Expressing in a Paragraph UNIT25～27 Expressing in Paragraphs UNIT28～31	<ul style="list-style-type: none"> ・比較、対照についての表現を学びます。 ・例示の表現を学びます。 ・原因と結果についての表現を学びます。 ・和食の紹介分を例に、事物を紹介する書き方を学びます。 ・「住みよいまちづくり」コンテストに応募した提案書を例に企画を提案する書き方を学びます。 ・問題を提起する書き方を学びます。 ・オンラインショッピングの是非を論じた記事を例に書き方を学びます。 ・課題プリント、定期考査 	B	A	—	B
3 学期	Communicative Activities	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートをそれぞれ体験し、発表します。 ・発表 	B	A	—	B

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	授業態度、出席状況、予習、復習、小テスト	20
② 外国語表現の能力	授業における発表内容、定期考査、課題プリント	60
③ 外国語理解の能力		
④ 言語や文化についての知識・理解	定期考査、小テスト	20

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

平成31年度 シラバス

教科	家庭	科目	家庭基礎	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	1	教科書	新家庭基礎 主体的に人生をつくる (大修館)		
副教材等	平成30年度 家庭科ノート・調理ノート基礎編 (愛媛県家庭科教育研究会)				

学習の目標	1 高齢社会、衣生活、住生活、消費生活について学び、人生を主体的に切り開く力を身に付けます。 2 生活の中で生じる課題を主体的に解決する実践力を養います。
学習の方法	・自立するために必要な実践力が身に付くよう学習して下さい。 ・実習の中で技術の習得だけでなく、コミュニケーションをとって協力するよう心掛けて下さい。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	7章 衣生活をつくる	・日常多く用いられる被服材料の特徴について取り扱い、用途や目的にあった被服材料の選択や、材料に合った被服管理を学習します。 ・調理実習、ノート、定期考査、課題プリント	B	B	B	A
1 学期 末	3章 高齢期を生きる 4章 共生社会を生きる	・高齢者の特徴や生活、高齢社会の現状や課題について取り扱います。 ・社会保険制度について取り扱い、ノーマライゼーション実現のため、自分たちがどう考え、取り組んでいけばよいか考えます。 ・ノート、定期考査	A	B	B	B
2 学期 中間	8章 住生活をつくる	・快適で安全な室内環境にするため、どのような工夫が必要かを考え、自分の住生活を快適にするよう学習します。 ・ノート、定期考査、課題プリント	B	B	B	A
2 学期 末	5章 経済生活をつくる 生活に関わる小物の製作	・消費生活の現状と課題、家計管理、経済の管理や計画について学習し、自ら考え自立した消費者を目指します。 ・ノート、定期考査 ・被服製作に必要な基礎的な知識や技術を学習します。 ・被服実習、ノート	B	B	B	A
3 学期	10章 生活をデザインする	・自分の価値観にもとづいて、生活設計を考えられるよう学習します。 ・ノート、調理実習	B	A	B	B

(備考) 1、2学期の定期考査は、期末に行う。
 学年末考査は行わない。

評価の観点と方法

評価の観点	評 価 方 法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、小テスト、定期考査	20
③ 技能	作品、実習	30
④ 知識・理解	定期考査、ノート、課題プリント	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、50～60%程度とする。

平成31年度 シラバス

教科	商業	科目	課題研究	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	2	教科書			
副教材等					

学習の目標	1 入試に対応できる小論文作成や面接の技術を習得し、問題解決の能力を身に付けます。 2 入試のための資料や情報の収集、模擬面接練習やテーマ別演習を通して、思考力や表現力、自発的・創造的な学習態度を身に付けます。
学習の方法	・経済に関する書籍や用語辞典等を使い、情報収集を行います。 ・大学の過去問題に触れることで入試に対応できる小論文の作成技術を学びます。 ・面接試験（ディスカッション含む）との関係も深いので面接練習も同時に行います。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1 小論文の書き方	・良い小論文を書くためには、課題の主旨を正確につかむことが大切であることを理解します。また、論理的な意見や理由付けの重要性などを学びます。さらに、要約についても学習します。 ・行動の観察、実習日誌、ワークブック、課題プリント	A	—	—	B
	2 様々な出題形式	・多様化する推薦入試では、小論文の出題形式も様々です。ここでは、例題を基に、テーマ型、課題文型、データ型、融合型、教科型などの様々な出題形式について学びます。 ・行動の観察、実習日誌、ワークブック、課題プリント	A	—	—	B
1 学期 末	3 志望理由書	・志望理由書で押さえておきたい4つのポイント（将来の目標、動機、過程、志望先とのマッチング）を理解した上で、自分史を作成し、その後、志望理由書を考えていきます。 ・行動の観察、実習日誌、ワークブック、課題プリント	B	B	A	—
	4 自己PR文	・自己PRで押さえておきたい4つのポイント（長所、理由、長所を得た経緯、将来への抱負）を理解した上で、ワークシートを完成させた後、自己PR文を完成させていきます。 ・行動の観察、実習日誌、ワークブック、課題プリント	B	B	A	—
2 学期 中間	5 面接対策	・面接の質問内容には必ず面接官の意図があります。質問の意図を考え、適切な回答ができるように準備をし、対策を練っていきます。 ・行動の観察、実習日誌、ワークブック、課題プリント	B	—	—	A
2 学期 末	6 模擬面接	・面接対策を踏まえ、実際に模擬面接を行っていきます。面接の形式は受験校によって様々であるが、各大学、専門学校に合わせた形式（個別面接、グループ面接、集団討論）で模擬面接を行い、実践力を身に付けていきます。 ・行動の観察、実習日誌、面接	B	B	A	—
3 学期	7 テーマ別演習	・これまでに学習してきたことをテーマ別に課題を設定し、反復学習をします。 ・行動の観察、実習日誌、ワークブック、課題プリント	B	A	—	B

(備考) 1、2、3学期とも定期考査は実施しない。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、実習日誌、ワークブック、課題プリント	20
② 思考・判断・表現	ワークブック、面接、課題プリント	20
③ 技能	ワークブック、面接、課題プリント	40
④ 知識・理解	ワークブック、面接、課題プリント	20

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

平成31年度 シラバス

教科	商業	科目	ビジネス経済応用	学年・学科・類型	3年 商業科 II型
単位数	3	教科書	ビジネス経済応用 (実教出版)		
副教材	ビジネス経済応用問題集 (実教出版)				

学習の目標	1 企業の経営、経済活動に関する基礎的・基本的な知識を学びます。 2 国際社会の一員としての心構えについて学び、国際的なビジネスの諸活動に適切に対応できる能力と態度を身に付けます。
学習の方法	・国際的なビジネスに必要な経営・経済の基礎的知識を、具体的事象や事例を通して学習します。 ・教科書中心ですが、問題集や資料などを適宜利用します。また、新聞記事なども利用し、感想等を発表し、経済事象についての考えをまとめていきます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1章 サービス経済化とサービス産業	<ul style="list-style-type: none"> 企業活動の内容や、企業が果たす役割について理解し、企業が成長するための要因や方策などを学びます。また、企業の国際化・グローバル化の様子について、具体的に見ていきます。 行動の観察、課題プリント、ノート、発表、定期考査 	A	B	—	B
1 学期 末	第2章 経済の国際化	<ul style="list-style-type: none"> 戦後から今日に至る社会の大きな変化の中で、わが国日本の企業が発展してきた背景を理解し、日本企業の経営の特質について学びます。また、変化の激しい経済社会に、企業経営がどのように対応しているかを学びます。さらに、経済社会の一構成要素として企業の社会的責任について考えてみます。 発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
2 学期 中間	第3章 金融市場と資本市場	<ul style="list-style-type: none"> 企業や私たちの生活の営みである家計が構成している国の経済にスポットをあて、わが国の経済社会の変化について、生産・労働・消費の側面から学びます。また、私たちの国の経済の状況はどのような指標で表されているのかなど、経済のしくみについて学習します。さらに、政府の経済活動のしくみと、我が国の金融のしくみについて理解します。 発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	—	A
2 学期 末	第4章 企業経営	<ul style="list-style-type: none"> 貿易の役割や動向について学ぶとともに、国際収支についても理解します。また、外国為替のしくみや、国際的な資金の流れについても学習します。さらに、我が国企業の海外進出の動向や海外進出にともなう企業経営の現地化、国際マーケティングの活動内容とその手法について学びます。 発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	A	B
3 学期	第5章 ビジネスの創造と地域産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 国際ビジネスにおいて生じる諸課題を具体的に取り上げ、その問題点や対策について考えます。また、戦後から現在に至るまでの国際経済体制の変化や、国際機構の役割について理解します。さらに、地域の発展・成長をねらいとした世界的な地域連携の動向について学びます。 行動の観察、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	—	A
	家庭学習					

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、期末に行う。3学期は、学年末考査を実施しない。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント、ノート、発表	10
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査	20
③ 技能	小テスト、定期考査	20
④ 知識・理解	課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	50

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

平成31年度 シラバス

教科	商業	科目	財務会計Ⅱ	学年 学科 類型	3年 商業科 Ⅱ型
単位数	2	教科書	使える財務会計Ⅱ (ネットスクール)		
副教材等					

学習の目標	1 財務会計に関する知識と技術を習得させ、経済社会において会計責任を果たすことの重要性について理解します。 2 会計に関する法規や基準の変更に対応し、会計情報を利害関係者に提供し、活用する能力と態度を養います。
学習の方法	・変化する企業環境と会計ビッグバン以降の会計に関する改正事項をまとめながら、具体的な実務の処理方法を学んでいきます。内容は、高等学校で学ぶ科目の中でも難しいものもありますが、教科書や問題集の例題にまじえて計算の方法を具体的に理解できるようにします。実際の会計処理をしっかりと考えながら知識と実践力を身に付けていきます。 ・全商会計実務検定試験(11月)の受験は、希望者としています。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	Chapter1 財務会計と会計基準	・今日の企業環境がどのように変化しているのか、そして、その変化に会計実務がどのように対応しているのか、さらに会計ビッグバンや会計の国際化の現状を理解し、会計実務の果たすべき役割、資産の評価基準、金融資産について学習します。 ・行動の観察、発表、問題集、小テスト、定期考査	B	B	A	-
	Chapter2 資産会計					
	Chapter3 期末棚卸資産(商品)の評価					
	Chapter4 有価証券					
1 学期 末	Chapter5 固定資産	・今日の会計実務には、新しい領域がたくさん取り入れられています。固定資産の評価方法、減損会計、また金融負債の評価方法さらにはリース会計について学習します。 ・発表、問題集、小テスト、定期考査	A	-	-	B
	Chapter6 減損会計					
	Chapter7 無形固定資産					
	Chapter8 負債会計					
	Chapter9 リース会計					
2 学期 中間	Chapter10 外貨換算会計	・外貨建取引の会計処理、純資産の意味と分類、さらには企業のグループ化とはどういうことをいうのか、そして企業グループの連結財務諸表は、どのようにして作成するのか、その手続きを学習します。 ・発表、問題集、小テスト、定期考査	A	-	-	B
	Chapter11 純資産会計					
	Chapter12 企業会計					
	Chapter13 連結会計					
2 学期 末	Chapter14 持分法	・持分法の基礎知識と処理、財務諸表項目の換算、キャッシュ・フロー計算書、さらには税効果会計についても学習します。 ・行動の観察、発表、問題集、小テスト、定期考査	B	B	A	-
	Chapter15 在外支店					
	Chapter16 キャッシュ・フロー計算書					
	Chapter17 税効果会計					
	Chapter18 財務諸表の活用					
3 学期	Chapter19 監査と職業会計人	・信頼できる財務諸表を作成するための会計責任と監査制度、職業会計人の職務と社会的役割について学習します。 ・行動の観察、発表、問題集、小テスト	B	B	A	-

(備考) 1 定期考査は1、2学期は実施し、3学期は実施しない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、発表、課題プリント、ノート	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、小テスト	20
③ 技能	小テスト、定期考査	40
④ 知識・理解	課題プリント、定期考査、ノート	20

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

平成31年度 シラバス

教科	商 業	科 目	ビジネス情報管理	学年 学科 類型	3年 商業科 II型
単位数	3	教科書	ビジネス情報管理 (実教出版)		
副教材等					

学習の目標	1 企業内の情報通信ネットワークを構築して、円滑に運営する知識と技術を習得します。 2 販売情報システムや財務情報システムを開発する知識と技術を習得します。 3 ビジネスの諸活動において情報を管理し、共有することの意味や必要性について学習します。
学習の方法	この授業では、情報ビジネス科で2年間学んだ知識をもとに、システム開発を行います。データベースのシステムを作る実習を通して、ソフトウェア開発の手順を学び、ビジネスの情報処理に役立つSEの基礎的な技能を養成します。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	第1章 ビジネスと情報システム	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの諸活動における情報システムの活用を取り扱い、業務を合理化するための情報システムの必要性について学習し、セキュリティ管理を行うための基礎的知識と技術を習得します。 ・課題プリント、小テスト、定期考査 	A	B	B	B
	第2章 情報通信ネットワークの構築と運用管理	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの仕組みと通信方法、ネットワーク機器の種類と機能などを取り扱い、情報通信ネットワークを構築し、円滑に運用管理するための基礎的知識と技術を学習します。 ・課題プリント、小テスト、定期考査 	B	B	B	A
2 学期 中間	第3章 ビジネス情報システム開発	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス情報システム開発に関する基本的な知識と技術を学習します。 ・課題プリント、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
2 学期 末	第4章 システム開発実習	<ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれて、システム開発を行います。12月下旬にグループ別に作成したシステムについての発表を行います。 ・システム開発日誌、課題プリント、システム開発作品発表、定期考査 	B	B	A	B
3 学期	第5章 システム開発冊子の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれて、システム開発の冊子を作成します。1月下旬にグループ別に作成したシステムについての発表を行います。 ・課題プリント、システム開発日誌、システム開発作品集 	B	B	A	B

(備考) 1 1学期の定期考査は、期末に行う。2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評 価 方 法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、発表、課題プリント、システム開発日誌	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、課題プリント、システム開発日誌	20
③ 技能	小テスト、作成したシステム開発作品	30
④ 知識・理解	課題プリント、定期考査	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。